



■写真1—大正末期、帆船が集中した輪島港。通称海士船と呼ばれる地廻船で、30石積で輪島の物産を周辺各地に運搬していた(『写真集輪島百年 追憶の構図』)

あの頃の風景

海道「北前船」編 第3回
人・モノ・文化の交流を支えた
交通の移り変わり「輪島」

株式会社ニュージェック/技術開発グループ社会計画チーム
今井 稔 IMAI Minoru



■写真2(上)—昭和10年、築港第3期工事終了後の輪島港(『写真集輪島百年 追憶の構図』)
■写真3(左)—現在の輪島港



■写真4(上)—昭和40年頃、奥能登観光がピークだった頃の輪島駅(『写真集輪島百年 追憶の構図』)
■写真5(下)—現在の旧輪島駅前広場の道の駅「ふらっと訪夢」。バスターミナル・観光案内センターを併設する新たな輪島の玄関口として生まれ変わった



日本海を二分するように突出している能登半島の先端部に位置している輪島港は、日本海海運の一拠点として重要な役割を担ってきた。古くは「小屋の湊(親の湊)」として栄え、日本最古の海洋法規集「廻船式目」に記された「三津七湊」の一つにも数えられ、江戸時代中期以降には「北前船」の寄港地として賑わいをみせてきた。

享保2年(1717年)、六百石から壱千石の北前船を三艘所有していた輪島を代表する船問屋久保屋喜兵衛は、その海運力を活かして、大阪で加工した小豆島産の御影石の鳥居と灯籠を、氏神である輪島港近くの住吉神社に奉納している。当時の豪商の“勢い”を偲ばせる。

しかし、幕末から明治にかけて、帆船から機械船へ、商法も買積船から賃積船へと変わっていった。遠浅である輪島港も大型船には適さなくなり、北前船のような遠海航路から、近海航路主体の交易へと推移せざるを得なかった。さらに、明治期に入り鉄道の敷設が始まり、早く安全かつ運賃の安い鉄道輸送へと移り変わっていく中で、海運として恵まれた輪島の地理的条件も、県庁所在地の金沢市まで鉄路で約160km離れた位置が、地域発展を阻害する要因ともなった。その七尾線輪島駅の開業は、昭和10年7月30日のことだった。

戦後、高度経済成長期を迎え、能登観光ブームにも乗り、昭和44年には年間100万人もの観光客が押し寄せ、七尾線の最盛期を迎えた。その後は国道や県道の整備とともにモータリゼーション化が進み、鉄道輸送から自動車輸送へと主役が変わり、七尾線も赤字路



■写真6—久保屋喜兵衛が奉納した住吉神社の鳥居



■写真7(上)—昭和15年、交通量の増加に伴いコンクリート永久橋に架け替え工事の「いろは橋」(『写真集輪島百年 追憶の構図』)
■写真8(左)—現在の「いろは橋」(平成20年7月)。能登半島地震により被災し復旧工事中



線に転じ、ついに平成13年4月1日、穴水～輪島間が廃止となり、輪島駅も閉業した。

しかし、旧輪島駅前広場は、新たな文化・伝統の発信・交流拠点を目指して整備された道の駅「ふらっと訪夢」に生まれ変わった。また平成15年7月、日本海の交通拠点であった輪島港に変わる日本の航空ネットワークの一拠点として、能登空港が開港した。

かつて、輪島港が北前船により日本海の文化・経済の交流を担ってきたように、今後は能登空港が首都圏のみならず、国際チャーター便によるアジア近隣諸国等との文化・経済の交流を担っていくことが期待されている。

このように、人・モノ・文化の交流を支える交通が移り変わる中、平安時代から千年以上の歴史を持つ朝市、重要無形文化財にして堅牢優美な色と形の輪島塗、日本の原風景と呼ぶにふさわしい白米町の千枚田等、「輪島らしさ」を感じさせるものが今も変わらず残っている。今後も、これら歴史的・文化的資源を活かし、「輪島らしさ」により一層の磨きをかけてほしい。

- <参考文献>
1)『写真集輪島百年 追憶の構図』社団法人輪島青年会議所 1984年3月
2)「輪島市ホームページ」(<http://www.city.wajima.ishikawa.jp/>)
3)「能登空港ホームページ」(<http://www.noto-airport.jp/notospher/www/index.jsp>)
4)「石川新情報書府ホームページ」(<http://shofu.pref.ishikawa.jp/>)

- <取材協力>
1) 輪島市
2) 社団法人輪島青年会議所

- <写真提供>
写真1、2、4、7、10 社団法人輪島青年会議所
写真6、9 輪島市役所
写真5、8、11 筆者



■写真9—重要無形文化財の「輪島塗」。北前船によって運ばれた輪島塗は、西は山口、北は北海道にまで運ばれた。通常東北以北では会津塗が多いが、北海道の江差では輪島塗が使われていた



■写真10(上)—昭和初期、昔日の朝市通り(『写真集輪島百年 追憶の構図』)
■写真11(右)—現在の朝市通り。街並みは変わっても朝市の活気と賑わいは変わらない

